

1 社会・治安情勢

(1) テロ情勢等

ザンビアにおいては、テロ組織・反政府組織や国際的なテロ組織の関連組織による活動は確認されていない。しかしながら、周辺国（モザンビーク、ソマリア等）のテロ組織がザンビアに浸透してくる可能性について、治安当局は警戒を強化している。現在のところザンビアにおけるテロの脅威は高くなく、また、日本人が標的にされる可能性も高くはない。しかしながら、偶発的な事件・事故の際の巻き添えとなる可能性は十分に考えられるため、注意を怠らないことが重要である。

(2) 一般治安・犯罪状況等

日常生活に影響を与えるような政情不安や治安情勢の悪化は確認されていない。一方で、今年に入ってからコッパーベルト州などで中国人やインド人に関わる強盗被害が多発しているため、外国人に対する犯罪に注意が必要である。

(3) 社会情勢

2020年から世界的に続く新型コロナウイルス感染症対策はザンビアにも影響を及ぼしたが、ロックダウンを実施することはなく、右による治安情勢への影響は見られない。また、2021年8月に行われた大統領総選挙では、各政党関係団体による選挙活動の活発化に伴い、全土において政党間の抗争や当地治安当局との衝突が発生し、6名の死者と多数の負傷者が出たが、その後平和裡に政権交代が実現した。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ザンビアはアフリカの中でも比較的安全な国と言われている一方で、殺人や強盗などの重犯罪は日本よりも多く発生している。また、邦人がよく利用するショッピングモールにおいても窃盗、置き引き、ひったくり、スリ等の一般犯罪や車上荒らしが発生している。

(2) 邦人被害事案

当該事件の発生は認知していない。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 1月2日22時、コッパーベルト州ンドラにおいて、現地ショッピングモール（Jacaranda Mall）の商店を経営する中国人女性宅に銃を持った男が侵入し、現金K20,000を奪って逃走した。女性は商店を閉めて帰宅した後に被害に遭い、銃撃により負傷している。

イ 1月30日深夜2時、中国人男性宅に銃を持った5人組の集団が押し入り、現金

K35,000と、ノートパソコンなどK60,000相当の貴重品を奪い逃走した。

ウ 2月19日深夜1時、コッパーベルト州キトウェにおいて、中国人が経営する自動車関係会社でパーティを行っていたところ、AK47の銃、ナイフ、金属棒で武装した6名組の集団が押し入り、現金K5,000を奪い逃走した。中国人男性1名は胸を撃たれて死亡している。

エ 2月21日9時、北西部州ソルウェジにおいて、インド系の男性が経営する給油所に銃を持った3人組の集団が押し入り、銀行に現金を持って行く準備をしていた男性から現金K160,000を奪い逃走した。この際、男性は銃撃により負傷している。なお、犯人1名は市民により拘束され、殴打されたことで死亡している。

オ 3月25日深夜2時、コッパーベルト州キトウェにおいて、中国人夫妻宅に5人組の集団が押し入り、現金K12,000、自動車、ノートパソコン、テレビなど総額K150,000相当の貴重品を奪って逃走した。中国人夫妻は平手打ちやけりなどの暴行を受けている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

問題とされる情報に接していない。